

令和7年度

事業報告書

社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会

## 目次

はじめに	- 1 -
I 一般事業報告書	- 2 -
1. つながり、支え合うまちづくり	- 2 -
2. 健やかな暮らしを支えるまちづくり	- 10 -
3. 安全安心で住みやすいまちづくり	- 18 -
4. 介護サービス事業の経営強化と発展	- 25 -
5. 福祉センター等の有効活用	- 25 -
6. 法人運営機能の充実・強化	- 26 -
7. その他の取り組み	- 30 -
II 介護保険事業、障がい福祉サービス事業報告書	- 31 -

# 令和7年度社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会事業報告

## はじめに

令和6年度から5年間を計画年度とする「第4次佐渡市地域福祉計画・地域福祉活動計画」では、地域共生社会の実現や持続可能なまちづくりを目指し、3つの基本方針に基づき取り組みを進めました。

地域福祉事業では、ふくボラ出前塾を開催し、福祉の心を育むとともに地域福祉の基盤づくりに努めました。地域食堂や住民主体による高齢者等の移動・買い物支援など、分野を超えた多様な連携・協働による助け合い支え合いの仕組みを推進しました。

生活支援事業では、身寄りのない方や認知症高齢者、障がいのある方など、財産管理に不安を抱える方が増加しており、成年後見制度のニーズが年々高まっています。また、社会的孤立や生きづらさを抱え、生活困窮者自立支援制度につながる支援ニーズも増加しています。

これらの地域生活課題に対しては、地域をはじめ、行政、関係機関、民生委員児童委員、及び企業等と協働し、解決に向けた取り組みを展開しました。

災害関連では、青年会議所との協定締結の更新や、佐渡市との災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定の締結に向けた協議を進め、体制強化を図りました。

介護保険事業については、高齢者人口及び介護保険認定者の減少に伴い、利用者数が減少傾向にあります。安定的な事業運営を図るため、利用状況に応じて営業日や利用定員の見直しを実施しました。

第3次社協発展・強化計画及び第4次佐渡市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、以下のおり事業を実施しましたので報告します。

# I 一般事業報告書

## 1. つながり、支え合うまちづくり

### (1) 支え合い意識の高揚と活動への支援

#### ① 福祉教育の充実

ボランティアセンターと各支所・地域センター連携のもと、福祉やボランティアの心を育むことを目的に依頼のあった学校や企業等に出向き、ふくボラ出前塾を実施した。連続講座を実施することで、講義から実践へとつながる事業展開を図った。

ア. 福祉教育事業（ふくボラ出前塾）の実施（補助事業・会費事業 76,521 円）

	地 区	実施先	分類	開催日	参加者数	内 容
1	市 内	佐渡市健康フェス	イベント	10月19日	70名	・高齢者疑似体験
2		あったかフォーラム	イベント	11月29日	30名	・高齢者疑似体験、アイマスク体験
3		新潟県消費者協会	その他	12月2日	19名	・見守り活動
4		佐渡農協 ほほえみ会	その他	3月19日	9名	・傾聴（ボランティア団体）
5	両 津	前浜小学校	学校	9月24日	5名	・高齢者疑似体験
6				10月7日	5名	・認知症サポーター養成講座
7				10月21日	5名	・サロン訪問
8				加茂小学校	学校	10月6日
9		河崎小学校	学校	12月12日	11名	・車いす体験、高齢者疑似体験
10				2月19日	12名	・視覚障がいの理解
11		両津中学校	学校	11月20日	4名	・車いす体験、アイマスク体験
12				12月4日	20名	・車いす体験、アイマスク体験（両中フェス）
13		前浜中学校	学校	1月29日	10名	・介護体験
14		相 川	相川小学校	学校	2月10日	26名
15	みとせ会		サロン	6月25日	7名	・高齢者のためのスマホ講座
16	ウエルシア相川店		企業	12月15日	13名	・災害ボランティア
17	佐和田	河原田小学校	学校	1月28日	31名	・車いす体験、高齢者疑似体験
18				2月6日	31名	・聴覚障がい、手話
19		二宮小学校	学校	2月16日	53名	・高齢者疑似体験
20		八幡小学校	学校	3月17日	17名	・車いす体験
21		佐渡西地域包括支援センター	事業所	10月17日	14名	・聴覚障がいについて
22	金 井	金井小学校	学校	2月12日	53名	・アイマスク体験、障がいについて
23				2月19日	53名	・車いす体験
24				3月5日	53名	・聴覚障がいの理解
25		西方地域の茶の間	サロン	7月25日	8名	・認知症サポーター養成講座
26		障がい者就業・生活支援センターあてび	企業	6月20日	7名	・災害ボランティア
27	新 穂	新穂小学校	学校	1月16日	18名	・車いす体験、アイマスク体験
28				1月27日	18名	・手話講習
29		新穂中学校	学校	10月14日	20名	・防災学習
30				11月7日	12名	・車いす体験

	地 区	実施先	分類	開催日	参加者数	内 容
31				11月21日	12名	・アイマスク体験
32				11月27日	30名	・車いす体験、アイマスク体験 (SDGs フェス)
33		下新穂公民館	集落	9月28日	9名	・災害ボランティア
34	畑 野	畑野小学校	学校	2月26日	34名	・車いす体験、高齢者疑似体験
35		佐渡総合高校	学校	7月9日	16名	・ボランティアについて
36				12月4日	19名	・認知症サポーター養成講座
37				1月15日	19名	・地域福祉事業の理解
38		丸山自治会	集落	7月27日	22名	・災害ボランティア
39				3月12日	12名	・認知症サポーター養成講座
40		松ヶ崎集落	集落	10月25日	40名	・災害ボランティア
41		栗野江サロン	サロン	8月6日	15名	・認知症サポーター養成講座
42		はたの温泉松泉閣 (小倉地区)	その他	11月5日	7名	・災害ボランティア (介護予防教室)
43		はたの温泉松泉閣 (大久保・宮川)	その他	11月12日	11名	・災害ボランティア (介護予防教室)
44		いこいの間はたの	その他	11月10日	8名	・災害ボランティア (介護予防教室)
45	真 野	真野小学校	学校	7月8日	13名	・災害ボランティア
46				9月9日	13名	・車いす体験
47				9月30日	13名	・アイマスク体験
48				10月14日	13名	・手話講習
49				10月21日	13名	・手話講習
50				11月4日	13名	・交流準備
51				11月18日	13名	・グループホームまの交流会
52				11月18日	29名	・高齢者疑似体験
53		真野中学校	学校	10月9日	105名	・車いす体験 (防災学習)
54		はつらつ教室 (潮津の里)	その他	2月9日	7名	・災害ボランティア (介護予防教室)
55		はつらつ教室 (小川内)	その他	3月5日	4名	・災害ボランティア (介護予防教室)
56		はつらつ教室 (田切須)	その他	3月10日	5名	・災害ボランティア (介護予防教室)
57	小 木	小木小学校	学校	11月6日	18名	・車いす体験、高齢者疑似体験
58				11月14日	16名	・介護体験
59		金子屋もったいな いセンター	その他	9月28日	21名	・認知症サポーター養成講座
60	羽 茂	羽茂小学校	学校	3月11日	18名	・車いす体験、高齢者疑似体験
61		羽茂高校	学校	5月15日	6名	・高齢者疑似体験
62				5月20日	9名	・地域福祉事業の理解
63				6月19日	6名	・介護体験
64				7月17日	6名	・介護体験
65				9月18日	6名	・車いす体験
66				10月16日	5名	・認知症サポーター養成講座
67				10月23日	6名	・聴覚障がいについての理解
68				11月20日	6名	・聴導犬
69				12月11日	6名	・職業講話
70				12月18日	6名	・手話講習
71	赤 泊	赤泊小学校	学校	7月3日	75名	・災害ボランティア (防災学習)
		合計			1,362名	

イ. 取材対応

日程	来訪者 ※オンライン
7月28日	全国社会福祉協議会（ボランティア情報 2025年9月号掲載）

② 支え合い意識の高揚と参加の促進

ア. 生活支援体制整備事業の実施（受託事業 25,905,237円）

令和6年度から第1層生活支援コーディネーターを新たに受託し、地域の助け合い支え合いを広めるため、地域のニーズの把握や資源の開発に取り組むとともに、担い手の掘り起こしや支援者同士のネットワークの構築を進めた。

また、「佐渡島ругと大交流会」の開催や「常設の居場所ほっとてらす」の開所により、子どもから高齢者等が交流し、互いに助け合い支え合う取り組みの推進を図った。

移動販売車と地域のマッチングを行い、買い物支援体制の構築を図るとともに、移動販売を通じたコミュニティづくりを行った。

(ア). 生活支援コーディネーター活動実績

活動内容	第1層	第2層		合計
	市内全域	西圏域 (相川・佐和田)	南圏域 (小木・羽茂・赤泊)	
実態把握	1件	3件	27件	31件
資源開発	70件	62件	73件	205件
支援ネットワークの構築	47件	23件	42件	112件
マッチング	0件	2件	3件	5件
合計	118件	90件	145件	353件

(イ). 協議体の開催

開催日	内容	場所	参加人数
9月4日	第1回南佐渡支え合い連絡会（羽茂地区） ・羽茂地区の活動・傾向について ・意見交換	佐渡市役所羽茂支所	19名
10月30日	相川しゃべり場 ・移動支援勉強会についての振り返り ・感想・意見交換	社協相川地域センター	6名
10月31日	佐和田しゃべり場 ・移動支援勉強会についての振り返り ・感想・意見交換	佐渡中央会館	6名
11月21日	佐渡市支え合いの仕組みづくり連絡会（第1層協議体） ・主旨説明「住民主体の移動支援について話し合おう」 ・取り組み事例の発表（潟上おでかけクラブ、川茂見守り隊） ・意見交換	佐渡市役所本庁	13名
12月4日	第1回企業体会議 ・地域貢献活動の取り組みについて ・関係機関からのお願い（就労的活動支援コーディネーター、生活自立相談支援センター、地域の助け合い支え合い活動、佐渡市高齢福祉課） ・意見交換、名刺交換	佐渡市役所本庁	26名

(ウ). 支え合い助け合い活動勉強会・講演会等の開催

開催日	内 容	場 所	参加者数
6月21日	佐渡市支え合いの仕組みづくり勉強会 「創らんかさ！地域の移動・外出支援」 ・講演「会いたい人に会いたいときに 出かけたいときに行きたいところへ」 講師 わり～じゃね乗合倶楽部 代表 野崎由紀子 氏 ・グループに分かれて意見交換 ・発表・まとめ	両津福祉センターし ゃくなげ	28名
9月5日	佐渡市支え合いの仕組みづくり勉強会 「創らんかさ！地域の移動・外出支援（オンライン勉強会）」 ・講演「会いたい人に会いたいときに 出かけたいときに行きたいところへ」 講師 わり～じゃね乗合倶楽部 代表 野崎由紀子 氏 ・質疑応答	島内6会場 ・ささえあい広場 ・社協相川地域セン ター ・インキュベーション センター ・リハビリ特化型デ イサービスミーお ・たまりば・子ども 未来舎りぜむ ・川茂会館	70名
2月28日	佐渡島ругと大交流会 ・地域助け合い活動実践者（住民・企業等）によるパネル展示 及び紹介 ・地域子ども食堂 ・授産品の販売及び展示 ・社協ブース	金井コミュニティセ ンター	116名

(エ). 常設の居場所ほっとてらす

開設日	延利用者数	特記事項
4月1日～8月4日 ※8月5日以降事情に より休業	1,508名	・小中高校生の利用（勉強、遊び、バス待ち等） ・ボランティア団体等の利用（会議、zoom研修、茶話会） ・イベントの開催（スマホ教室、夏休みボランティア体験、地域食堂、 健康麻雀、クラフトづくり講座 他） ・授産品販売 ・臨床研究への協力 ・関係機関との連携、各相談機関へのつなぎ

(オ). 研修会等への職員派遣

職員の派遣を行い、地域助け合い活動等について佐渡市の取り組み事例紹介を行った。

日程	派遣先
7月28日	2025年度さわやか福祉財団全国交流フォーラム
10月14日 ～10月23日	いきがい助け合いオンラインフェスタ2025
12月4日	令和7年度鹿児島県生活支援コーディネーター養成研修（実践編）

(カ)．取材対応

日程	来訪者
4月24日 ～25日	さわやか福祉財団（さあ、言おう 2025年6月号掲載）

(キ)．先進地視察

日程	視察先
3月9日	群馬県高崎市：認定NPO法人じゃんけんぼん（近隣大家族） 群馬県渋川市：渋川市社会福祉協議会 赤城支所 だれでも広場

イ．佐渡市社会福祉大会の実施

式典では社会福祉功労者表彰を行い、永年にわたり社会福祉の進展にご尽力いただいている方々を表彰した。

また、記念講演として、株式会社GOBOU代表取締役の築瀬寛さんを講師にお招きし、現在の自分の体や健康状態を知ることの大切さについてご講演いただいたほか、来場者に声をかけながら手遊びや体操を行い、大会を盛り上げていただいた。

(ア)．佐渡市社会福祉大会の開催

開催日	内容	場所	参加者数
10月15日	第20回佐渡市社会福祉大会 ・式典 ・記念講演 演題 笑顔をつくる健康体操 ～介護予防に必要な5つのキーワード～ 講師 株式会社GOBOU代表取締役 築瀬 寛氏 ・記念動画上映「つながりの20年、未来へ」 ・障がい者施設の授産品販売	アミューズ メント佐渡	250名

(イ)．社会福祉関係者の顕彰

開催日	内容	場所	被表彰者数
10月15日	第20回佐渡市社会福祉大会の席上にて、社会福祉功労者を表彰	アミューズ メント佐渡	個人5名 団体10団体

ウ．共同募金事業の協力

(ア)．実績額

佐渡市内の地域福祉事業に活用される共同募金については、目標額 13,701,000 円に対して 89.2%の達成率、前年度より 444,243 円の減額となった。

【戸別】	【法人】	【学校】	【職域】	【その他】	【合計】
12,696 件	843 件	60 件	155 件	162 件	13,916 件
8,374,343 円	2,853,473 円	197,672 円	315,907 円	486,531 円	12,227,926 円

(イ)．キャッチフレーズの募集

市内の学生を対象に赤い羽根キャッチフレーズの募集を行い、事業の啓発を図った。

応募総数 23 作品

最優秀作品 「赤い羽根 想いが羽ばたき 笑顔咲く」

エ. 福祉団体への活動支援

佐渡市福祉団体活動支援事業業務（受託事業 8,123,000円）

	老人クラブ連合会 (8団体)	身体障がい者福祉協議会 (1団体・5支部)	佐渡市手をつなぐ育成会 (1団体・5支部)
事業企画・実施に関する事項	45件	41件	11件
総会定例会等の会議開催に関する事項	52件	3件	10件
書類等の作成指導等に関する事項	425件	22件	22件
事務に関する事項	2,120件	701件	650件
合 計	2,642件	767件	693件

オ. 戦没者慰霊祭の実施（補助事業 350,094円）

開催地区	参列者
3地区	105名

(2) 地域で活躍する人材育成・ボランティア活動支援

① 人材・リーダーの発掘と育成（補助事業・会費事業 91,603円）

ア. ボランティア研修会等の実施

ボランティア交流会を開催し、いきいきサロン・地域の茶の間ボランティアのモチベーションの向上や活動の実践事例について学び、今後の意欲的な活動につながる機会となった。

また、ボランティア活動を推進するために、セカンドライフ講座として傾聴講座を開催し、活動への参加促進と登録者の増加を図った。

(ア). ボランティア交流会

開催日	参加者数	場 所	内 容
9月19日	37名	アミューズメント佐渡 (小ホール)	・活動紹介 新穂デイサービスセンター 相談員 林田 和章 氏 新穂愛宕の園 看護係長 加藤 陽子 氏 ボランティア 西永 武志 氏、前田 愛子 氏 ・情報交換・情報提供

(イ). セカンドライフ講座

開催日	延参加者数	場 所	内 容
2月5日	71名	アミューズメント佐渡 文化情報センター	令和7年度傾聴ボランティア養成講座
2月12日			「傾聴の基本、技術、活動に向けて」
2月19日			講師 坪井 和美 氏

② ボランティア活動の支援と連携強化（補助事業・会費事業 1,176,283円）

ア. ボランティア活動の推進

(ア). ボランティア登録状況

ボランティア登録の促進やニーズの把握・発掘に努めた。(令和8年3月31日現在)

個 人	団 体
503名	135団体

(イ). ボランティア保険加入受付・報告

ボランティア活動保険加入者（令和7年度補償の対象者）1,695名

(ウ). 収集ボランティアの協力

市民から寄せられた物品を、島外の支援団体に送付した。

物 品	受付量	物 品	受付量
エコキャップ	2,618kg	書き損じハガキ	40枚
外国のお金	46枚	中古メガネ	30本
使用済み切手	13,427g		

(エ). 24時間テレビチャリティー募金活動の実施

佐渡セントラルタウン内で街頭募金活動を行った。また、佐渡市社会福祉協議会各窓口において募金活動を行った。

地 区	実施日	実績額	場 所
街頭募金	8月31日	339,020円	佐渡セントラルタウン内
窓 口	8月18日 ～9月12日	43,521円	佐渡市社会福祉協議会本所・支所・地域センター10か所
合 計		382,541円	

イ. ボランティアの相談、連絡調整

(ア). ボランティアセンター運営委員会の開催

開催日	出席者	決議事項
1   5月8日	11名	1 運営委員長、副委員長の選出について 2 令和6年度佐渡市ボランティアセンター事業報告について 3 令和7年度佐渡市ボランティアセンター事業計画について
2   12月17日	9名	1 令和7年度佐渡市ボランティアセンター事業中間報告について 2 令和8年度佐渡市ボランティアセンター事業計画（案）について 3 その他 ほっとてらす休止について

(イ). ボランティア担当者会議等の開催

各種事業の打合せや次年度事業計画、各地区情報交換等を目的に5回開催した。

ウ. ボランティアセンター公式LINE

ボランティア募集情報をはじめ、活動状況や地域の情報を配信し、参加の促進を図った。

また、お友達登録の啓発にも努めた。

配信回数 59回 ・ お友達登録者数 340名（19名減）

エ. ボランティア人材バンク一覧の発行

市民に広く情報提供するため、社協だより、ホームページ及び佐渡テレビ等を通じてボランティア情報を発信した。また、ボランティア人材バンク（きらっとボランちゃ情報ブック）の更新を行った。

### (3) 子育てにやさしい地域づくり

#### ① 子育てサービスの充実

##### ア. 世代間交流事業の実施・支援協力

###### (ア). 世代間交流の推進

世代間交流を図るため、サロンやデイサービスセンター等で交流を行った。

地 区	回 数	内 容
6 地区	3 8 回	デイサービスセンターへの園児訪問、居場所づくり事業等への小学生参加 等

###### (イ). メッセージカード送付事業

市内全小中学校の児童、生徒よりメッセージカードを作成いただき、歳末たすけあい事業の配付物に同梱した。

##### イ. 夏休みボランティア体験プログラムの実施（会費事業 17,509 円）

地域の施設や地域福祉事業での体験を通して、ボランティア活動を身近に感じてもらうため実施した。参加者はデイサービスセンターやグループホーム、介護予防教室、地域の茶の間・サロンでのお手伝いや交流、配食サービスやおはようコールなどの地域福祉事業の体験、児童クラブや子どもの居場所での遊びのサポート・見守りなど、多様な活動を体験した。

対象：夏休み期間の佐渡市内在住の小学3年生～6年生、中学生、高校生

延参加者数	参加校
8 3 名	1 4 校

## 2. 健やかな暮らしを支えるまちづくり

### (1) 地域での見守り・声かけ体制づくり

#### ① 見守り・声かけ活動の推進

ア. 地域福祉懇談会の実施（受託事業：地域力強化推進事業に含む）

各支所において小地域単位で開催し、地域の実情や課題等の意見をいただくことができた。

また、一部開催が困難な集落では、アンケート調査を実施するなど工夫して取り組みを進めた。

開催回数	参加者数	対象集落
13回	112名	17集落

イ. 支え合いマップづくり事業の実施（受託事業：地域力強化推進事業に含む）

集落へ働きかけを行い、市民とともに支え合いマップづくりに取り組んだ。地図を見ながら地域の情報を共有し、災害時の見守り体制の構築を行った。また、災害時の体制から平時の支え合いにつながるよう、話し合いを行った。

実施回数	参加者数	対象集落
13回	64名	14集落

ウ. 見守り活動の推進（受託事業：地域力強化推進事業に含む）

一人暮らし高齢者世帯等への近隣住民の定期的な訪問や、支援のネットワークによる声かけ、外観からの見守りなどを行い、安否の確認や見守りを実施した。民生委員児童委員、福祉協力員、集落等関係機関と連携強化を図りながら取り組んだ。

また、継続してシリコンバンドを配付し、見守り活動の啓発を図った。

講座等の開催	開催回数	参加者数	備考
見守り情報共有会議	22回	217名	見守り方法の確認 見守り対象者現状確認、見直し

エ. おはようコール（お元気コール）の実施（補助事業・会費事業 704,926円）

一人暮らし高齢者・障がい者等世帯に対し、定期的な電話による安否確認を行い、健康状態の把握や孤独感の解消に努めた。また、ボランティア同士の情報交換やモチベーション維持を図るため、各地区で情報交換会を開催した。

利用者数	ボランティア数
89名	51名

オ. 配食サービスの実施（補助事業・会費事業 10,513,566円）

一人暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯等で、公的サービスのみでは食生活に不安のある方に対し、配達ボランティアの協力を得て配食サービスを提供するとともに、見守り・安否確認を行った。

実利用者数	延配食数	うち 弁当延数	うち おかず延数	ボランティア数 (実働)
231名	13,228食	5,351食	7,877食	64名

カ. 佐渡市配食サービス（受託事業 24,572,259円）

佐渡市から配食サービス事業を受託し、社協配食サービスと併せて、祝日を除く平日（月曜日～金曜日）一貫して食の確保、見守り、安否確認を行った。

実利用者数	延配食数	うち 弁当延数	うち おかず延数
298名	16,060食	7,744食	8,316食

キ. 福祉つながりセット配付事業の実施（共同募金配分金事業 2,376,698円）

民生委員児童委員の協力を得て、80歳以上一人暮らし高齢者及び80歳以上のみ世帯高齢者等へ生活用品の配付を年2回実施し、実態把握や見守りを行った。

延利用者数
5,732名

ク. 民生委員児童委員等との連携強化（会費事業 3,300円）

各民生委員児童委員定例会に出席し、地域課題の共有や佐渡市社会福祉協議会事業についての意見交換等を行い、連携強化に努めた。

また、定例会への出席のほか、両津地区等において福祉懇談会等を開催し、個別課題や支援策等の共有を図った。

開催回数	開催地区
36回	両津、相川、新穂、畑野、真野

ケ. 第4次佐渡市地域福祉計画・地域福祉活動計画の検証

地域生活課題の解決を目指し、地域住民をはじめ地域の関係機関との連携に努めるとともに、地域福祉委員会での協議、及び佐渡市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進懇談会による評価を行った。

開催日	会議名	決議事項
3月19日	推進懇談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次計画（令和6年度）の評価について</li> <li>・第4次計画（令和7年度）の進行管理・評価について</li> </ul>

## ② 誰もが集える居場所づくりの推進

ア. 地域の居場所づくり事業の推進（補助事業・会費事業 1,249,187円）

(ア). 地域の茶の間・いきいきサロン等の実施、支援

日中孤立しがちな高齢者等の閉じこもり予防や、仲間との交流による孤独感の解消が図れるよう、地域の茶の間、いきいきサロン等の開催を支援した。地域食堂についても各地で開催を支援した。

区分	実施回数	開催箇所	延参加者数	備考
地域の茶の間・いきいきサロン	1,075回	96箇所	12,029名	新規開設3箇所
地域食堂	38回	12箇所	1,688名	新規開設1箇所
お試しサロン	2回	1箇所	14名	
お買い物サロン	15回	1箇所	29名	
入浴支援	6回	1箇所	22名	
合計	1,136回	111箇所	13,782名	

(イ). スタッフや参加者同士の交流会・スタッフ研修会等の実施

実施回数	延参加者数	主な内容
6回	100名	地域の茶の間ボランティア情報交換会、いきいきサロンボランティア研修会、サロン交流会、ボランティア交流会

## (2) 相談支援、情報提供体制の充実

### ① 重層的・包括的相談支援体制の充実

ア. 地域力強化推進事業の実施（受託事業 43,656,000 円）

制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の発見や解決に取り組むため、コミュニティソーシャルワーカー（福祉なんでも相談員）を配置し、アウトリーチ（訪問活動）や関係機関、包括化推進員との連携により、課題解決の支援を行った。

また、地区担当支援員を配置し、地域福祉懇談会や支え合いマップづくり等を通じて集落等と連携しながら支援活動に取り組んだ。

#### (ア). 相談実績

	両 津	相 川	佐和田	畑 野	羽 茂	合 計
相談受付総件数	153件	223件	628件	184件	254件	1,442件
うち問合せ件数	27件	6件	23件	5件	16件	77件
うち新規件数	32件	38件	83件	19件	48件	220件
うち継続相談件数	94件	179件	522件	160件	190件	1,145件

#### (イ). 相談内容

	両 津	相 川	佐和田	畑 野	羽 茂	合 計
福祉制度・サービスに関する相談	54件	110件	289件	56件	8件	517件
日々の生活に関する相談	108件	83件	225件	136件	27件	579件
病気・健康に関する相談	25件	44件	157件	66件	7件	299件
障がいに関する相談	0件	2件	4件	7件	1件	14件
介護に関する相談	22件	0件	0件	3件	5件	30件
仕事に関する相談	23件	4件	24件	6件	2件	59件
財産管理・債務に関する相談	19件	4件	18件	6件	1件	48件
権利擁護に関する相談	0件	0件	0件	0件	0件	0件
消費者被害に関する相談	0件	0件	0件	0件	0件	0件
家族関係・人間関係に関する相談	4件	0件	16件	5件	0件	25件
地域との関係・社会参加に関する相談	6件	3件	32件	4件	0件	45件
ひきこもり・不登校に関する相談	0件	0件	0件	1件	1件	2件
DV・虐待に関する相談	0件	0件	0件	0件	0件	0件
地域福祉・ボランティアに関する相談	3件	8件	30件	11件	0件	52件
住宅に関する相談	0件	4件	3件	1件	0件	8件
子育て・子どもの教育に関する相談	0件	0件	0件	0件	0件	0件
その他	7件	0件	48件	2件	11件	68件
合 計	271件	262件	846件	304件	63件	1,746件

(ウ). 活動実績

	両 津	相 川	佐和田	畑 野	羽 茂	合 計
サロン・個人宅等への訪問	61件	21件	66件	27件	133件	308件
福祉サービス、関係機関等へのつなぎ	22件	0件	4件	7件	55件	88件
研修会等への出席、地域づくりに関する活動等	34件	3件	32件	137件	76件	282件
地域支援活動数	39件	5件	23件	32件	41件	140件
合 計	156件	29件	125件	203件	305件	818件

(エ). 包括化推進員の配置

福祉課に包括化推進員を配置し、コミュニティソーシャルワーカー（福祉なんでも相談員）をはじめ、各部署との連携強化や生活課題を抱える世帯への事例検討を行った。

また、生活支援コーディネーターとの連携を図り、地域支援に取り組んだ。

a. 相談件数 138件 うち多機関連携件数 16件

b. 包括化推進会議の開催

支援調整会議にて個別事例の検討 11回

c. ネットワーク構築に向けた取り組み

支え合い仕組みづくり連絡会への出席 1回

生活支援コーディネーターとの連携 17回

イ. 地域包括支援センター・ブランチの設置

(ア). 地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続できるよう、地域における関係者とのネットワークの構築を図るとともに、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、関係機関又は制度の利用につなげる等の支援を行った。

a. 佐渡東地域包括支援センター

(a). 介護予防把握・介護予防ケアマネジメント作成件数

	新規件数	継続件数
介護予防把握	0件	
介護予防ケアマネジメント1（総合事業）	48件	742件
介護予防ケアマネジメント2（予防給付）	33件	964件

(b). 相談件数（延数） (c). 相談内容（実数）

(d). 会議・研修等への出席

相談方法	件数	相談内容	新規件数	継続件数	会議名	件数	
電話	847件	総合相談	65歳以上	288件	640件	担当圏域包括ケア会議	2件
文書	5件		その他	17件	7件	地域ケア個別会議	5件
来所	196件	権利擁護	成年後見	4件	15件	ケース会議	22件
訪問	107件		高齢者虐待	5件	1件	その他	142件
健診	16件		困難事例	2件	8件	合 計	171件
合 計	1,171件		消費者被害	0件	0件		
		包括的・継続的ケアマネジメント		29件	126件		

b. 佐渡西地域包括支援センター

(a). 介護予防把握・介護予防ケアマネジメント作成件数

	新規件数	継続件数
介護予防把握	0 件	
介護予防ケアマネジメント1（総合事業）（A・C型含）	96 件	1,243 件
介護予防ケアマネジメント2（予防給付）	19 件	1,449 件

(b). 相談件数（延数）

(c). 相談内容（実数）

(d). 会議・研修等への出席

相談方法	件数	相談内容	新規件数	継続件数	相談方法	件数	
電話	1,187 件	総合相談	65歳以上	561 件	709 件	担当圏域包括ケア会議	2 件
文書	46 件		その他	19 件	24 件	地域ケア個別会議	8 件
来所	326 件	権利擁護	成年後見	14 件	26 件	ケース会議	13 件
訪問	167 件		高齢者虐待	26 件	27 件	その他	232 件
健診	78 件		困難事例	8 件	20 件	合 計	255 件
合 計	1,804 件		消費者被害	1 件	0 件		
		包括的・継続的ケアマネジメント		32 件	55 件		

c. 佐渡南地域包括支援センター

(a). 介護予防把握・介護予防ケアマネジメント作成件数

	新規件数	継続件数
介護予防把握	0 件	
介護予防ケアマネジメント1（総合事業）	46 件	589 件
介護予防ケアマネジメント2（予防給付）	9 件	388 件

(b). 相談件数（延数）

(c). 相談内容（実数）

(d). 会議・研修等への出席

相談方法	件数	相談内容	新規件数	継続件数	会議名	件数	
電話	288 件	総合相談	65歳以上	246 件	285 件	担当圏域包括ケア会議	2 件
文書	23 件		その他	10 件	5 件	地域ケア個別会議	6 件
来所	153 件	権利擁護	成年後見	2 件	5 件	ケース会議	5 件
訪問	68 件		高齢者虐待	3 件	17 件	その他	126 件
健診	62 件		困難事例	5 件	18 件	合 計	139 件
合 計	594 件		消費者被害	0 件	0 件		
		包括的・継続的ケアマネジメント		14 件	23 件		

(イ). ブランチ（相川ブランチ・新穂ブランチ・真野ブランチ・小木ブランチ・赤泊ブランチ）

a. 高齢者の介護予防把握状況

内 容	相川	新穂	真野	小木	赤泊	合計
サービス基本台帳作成件数	601 件	150 件	150 件	150 件	220 件	1,271 件
うち地域包括支援センターへの情報提供	4 件	7 件	14 件	5 件	2 件	32 件

b. 総合相談状況

内 容	相川	新穂	真野	小木	赤泊	合計
相談受理件数	17 件	13 件	38 件	6 件	32 件	106 件
うち地域包括支援センターへつないだ数	11 件	5 件	26 件	5 件	9 件	56 件

ウ. 在宅介護支援センターの設置

(両津在宅介護支援センターいわゆり・両津在宅介護支援センターかんぞう)

(ア). 高齢者の介護予防把握状況

内 容	いわゆり	かんぞう	合計
サービス基本台帳作成件数	300件	300件	600件
うち地域包括支援センターへの情報提供	0件	4件	4件

(イ). 総合相談状況

内 容	いわゆり	かんぞう	合計
相談受理件数	4件	14件	18件
うち地域包括支援センターへつないだ数	2件	9件	11件

② 生活困窮者自立支援事業の推進

ア. 生活困窮者自立支援事業の推進 (受託事業 26,740,848 円)

経済的に困窮している市民に対し、生活困窮状態からの脱却を図るため相談支援を行った。

相談件数は近年、コロナ禍以前と同程度の件数に落ち着いている。継続して支援調整会議や生活困窮者自立支援事業研修会を開催し、関係機関とのネットワークの構築に努め、連携しながら相談支援を行った。特に、生活困窮者自立支援事業研修会では、従来の地元企業との連携をテーマに開催し、新たな協力企業の開拓を試みた。

また、就労準備支援事業・被保護者就労準備支援事業においては、相談者の個性に応じた新規プログラムを多数立案し、佐渡市社会福祉協議会内外のネットワークを生かして、相談者の生活や社会面の自立に向けた支援を拡充した。

(ア). 自立相談支援事業の実施

a. 相談件数、相談方法、プラン作成数、一般就労・増収者数 (各延件数)

相談件数	件数	相談方法	件数	件数
問合わせ件数	10件	電話	2,170件	自立プラン作成数 (再プラン含む)
新規受付件数	156件	文書・メール	485件	
相談援助件数	3,622件	来所	164件	一般就労数
その他	114件	訪問・同行	813件	増収者数
合 計	3,902件	他機関との会議	156件	
		その他	114件	
		合 計	3,902件	

b. 支援調整会議の開催

開催回数	場 所	延参加者数	内 容
11回	畑野行政サービスセンター	78名	自立相談支援事業プラン、家計相談支援事業プラン、就労準備支援事業プログラム、被保護者就労準備支援事業プログラム

c. 個別支援調整会議

開催回数	場 所	延参加者数	内 容
6回	佐渡市役所本庁、佐渡市役所相川支所、子ども若者相談センター	54名	対象者 6世帯12名

d. 普及啓発、広報

開催回数	内 容
5回	チラシ配付（全戸）、研修会及び勉強会への講師派遣、社協ホームページ掲載

e. 生活困窮者自立支援事業研修会の開催

開催日	場 所	参加者数	内 容
9月18日	アミューズメント佐渡	22名	講義 「生活自立相談支援センターと就労準備支援事業の概要」について 講師 生活自立相談支援センター 主任相談支援員 梅川真奈実 トークセッション～就労準備支援事業「はじめの一步」のお手伝い～ 登壇者 橋本舞依子氏（たびのホテル佐渡） 本田 交美氏（佐渡アグリカルチャーシップ有限公司） 竹内康太郎氏（ゲストハウス華屋）

(イ). 家計改善支援事業の実施

a. 家計改善支援事業プラン等の実績

	件 数
家計再生プラン作成数（再プラン含む）	29件
生活福祉資金あつせん数	2件

(ウ). 就労準備支援事業・被保護者就労準備支援事業の実施

a. 就労準備支援事業プラン等の実績

	内 容
就労準備支援事業プランの作成数（再プラン含む）	5件
就労準備支援プログラムの実施	作成数 15件 実施回数 78回 実参加者数 58名 延参加者数 127名 実施内容 ボランティア活動（新聞紙ゴミ袋作り・紙袋作り・ホテルの小物入れ）・配付物品梱包（つながりセット）・レトルトにしんとそばセット梱包・封筒に封をする作業・チョコのパッケージ作り・福祉用具（レンタル）の洗浄・企業チラシに社名印を押す作業・牡蠣祭りイベントの会場づくり・福祉用品レンタルカタログの価格シール貼り・カレンダー袋詰め・ペットボトルキャップ分別・チラシの挟み込み

b. 被保護者就労準備支援事業プランの実施

	件 数
被保護者就労準備支援事業プランの作成数	1件

イ. 社協就労体験事業（共同募金配分金事業 110,800円）

就労体験等を希望する方の社会参加のきっかけを得られるよう、佐渡市社会福祉協議会内において、福祉つながりセット等配付物品の袋詰めなどの軽作業を実施した。

・参加者（実人員） 10名      ・延活動回数 82回

ウ. 生活福祉資金の貸付支援（新潟県社協受託事業 2,295,500円）

低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯及び失業により生計の維持が困難となった世帯を対象に、生活の安定と自立を目的として、生活福祉資金の相談受付及び貸付を行った。

資金種類	相談件数	申請件数	貸付決定件数	申請金額	貸付決定金額
総合支援資金	3件 (うち新規0件)	—	—	—	—
福祉費	72件 (うち新規3件)	1件	1件	260,000円	259,000円
緊急小口資金	77件 (うち新規9件)	2件	2件	130,000円	130,000円
教育支援資金	48件 (うち新規2件)	—	—	—	—
緊急小口資金(地震特例)	22件 (うち新規0件)	—	—	—	—
不動産担保型生活支援	9件 (うち新規0件)	—	—	—	—
合計	231件	3件	3件	390,000円	389,000円

緊急小口資金等のコロナ特例貸付において、多くの債権が今年度中に償還期限を迎えたため、個別の償還状況に応じて借受人へのフォローアップ支援を行った。

資金種類	フォローアップ対象件数	相談件数
緊急小口資金(コロナ特例)	73件	125件
総合支援資金(コロナ特例)	15件	6件
合計	88件	131件

また、コロナ特例貸付のフォローアップ支援に関する業務説明会に参加し、適正な債権管理に必要な知識や援助技術等を学んだ。

回数	内容
1回	業務説明会

### (3) 健康・生きがいのづくりの推進

#### ① 健康づくりと介護予防の推進

ア. 介護予防教室の実施（受託事業 12,068,400円）

参加者同士の交流を通じて活動的な生活を推進し、閉じこもりを予防することを目的に実施した。実施回数は前年度より67回減少し、延べ参加者数も837名減少した。

教室数	実施回数	実参加者数	延参加者数
34教室	712回	582名	7,481名

#### ② 生きがいのづくりと交流の促進

ア. 生きがい活動支援通所事業

実施回数	延参加者数	内容
50回	222名	健康寿命増進と介護予防を目的とした体操・運動・レクリエーション等

### 3. 安全安心で住みやすいまちづくり

#### (1) 地域の防災・防犯体制づくり

##### ① 防災意識の醸成と災害時の連携強化

ア. 災害救援体制の整備（補助事業 885,959 円）

災害ボランティア活動や災害時に地域でできることを考えるため、講座を開催した。また、被災時の相互連携体制を整えることを目的にネットワーク調整会議を行い、意見交換・情報共有を行った。

##### (ア). 災害ボランティア講座の開催

開催日	参加者数	場 所	内 容
3月7日	66名	金井コミュニティセンター ホール	行政説明 「佐渡市における地区防災の取り組みについて」 佐渡市総務部防災課 危機管理主幹 遠藤 隆行 氏 講義Ⅰ 「災害VCの役割と機能」 講義Ⅱ 「災害に強い地域づくりを目指して」 講師 オフィス園崎 園崎 秀治 氏

##### (イ). 災害アドバイザー派遣事業検討会（佐渡災害ボランティアネットワーク調整会議）の開催

開催日	参加者数	場 所	内 容
2月20日	3名	畑野行政サービスセンター	情報提供 「新潟県と新潟県社協との災害時における役割分担の進捗状況について」 新潟県社会福祉協議会地域福祉課 主任 清川 祐介 氏 意見交換

##### (ウ). 災害ボランティアセンタースタッフ研修会の開催

開催日	参加者数	場 所	内 容
3月6日	35名	畑野行政サービスセンター	Zoom オンラインとのハイブリット形式による講義 講義Ⅰ「離島における災害ボランティア支援活動の実際」 講師 オフィス園崎 園崎 秀治 氏 講義Ⅱ「災害ボランティアセンター設置・運営の実際」 講師 関川村社会福祉協議会 総務課地域福祉係長 平田 達哉 氏

##### (エ). 佐渡市総合防災訓練への参加

開催日	参加者数	場 所	内 容
11月9日	職員3名	南佐渡中学校 体育館周辺	災害ボランティアセンター展示体験コーナーの設置 ・災害ボランティアセンターの周知（情報掲示） ・災害ボランティアクイズの実施 ・ボランちやくん 顔抜きパネル設置

(オ) 佐渡青年会議所との災害時相互協力協定の更新・情報交換会

開催日	参加者数	場 所	内 容
12月23日	佐渡青年会議所 3名	畑野行政サービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時相互協力協定内容確認、更新について</li> <li>・青年会議所ネットワークにおける災害時の体制について</li> </ul> <p style="text-align: center;">佐渡青年会議所 理事長 川原 茂 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換</li> </ul>

(2) 暮らしやすい生活環境づくり

①暮らしやすい基盤整備の充実

ア. 地域福祉社会への活動支援

福祉社会を支援することで、見守り活動の推進や福祉活動の活発化を図った。

地区数	主な活動内容
16地区	見守り、施設ボランティア、茶の間・サロン、子どもの健全育成、雪かき、生活支援

イ. 車椅子貸与事業（会費事業 11,396円）

病气やけが等により一時的に車椅子が必要な方を対象に貸与した。貸与期間を1か月に延長し、長期の貸与にも対応した。

利用件数	保有台数
145件	36台

ウ. 歳末たすけあい事業の実施（共同募金配分金事業 3,715,797円）

市民から寄せられた歳末たすけあい募金を財源に、歳末たすけあい弁当やそばセットの配付等、安心して新たな年を迎えていただけるよう、サービス内容を変更し提供を行った。民生委員児童委員や関係機関の協力を得て、対象者への周知等を行った。

また、市内全小中学校の協力を得て、メッセージカードを作成いただき同梱し交流を深めた。

利用者数	事業内容	対象者
3,154名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歳末たすけあい弁当配付</li> <li>・そばセット（にしん付き）配付</li> <li>・出張理容サービス</li> </ul>	80歳以上一人暮らし高齢者、 80歳以上高齢者のみ世帯、 80歳以上高齢者と介助を要する同居親族のみ世帯、 療育手帳A,B所持者、 身体障害者手帳「上下肢不自由1級」所持者、 視覚障がい者1種（1～4級）所持者、 聴覚障がい者1種（2～3級）所持者、 精神障害者保健福祉手帳所持者、 介護度「4、5」の認定者

② 生活交通の確保と生活支援の充実

ア. 生活支援ボランティア派遣事業（ごむしんネット）の実施（補助事業・会費事業 1,005,349円）

高齢者や障がい者等の日常生活での心配ごとや困りごとに対応するため、生活支援ボランティアを派遣した。多様な要望に対応できるよう、生活支援ボランティアの確保に努めた。また、居宅介護支援事業所等の関係機関との連携を図り、事業周知に努めた。

ごむしんネットとして依頼があり、マッチングを行ったが、地縁関係での助け合いでの実施となったケースが10件あった。(実績に含まない。)

派遣回数	利用実人数	ボランティア数	主な内容
2,645回	92名	83名	ゴミ出し、買い物、話し相手、掃除、送り出し等

イ. 移送サービス事業の実施 (会費事業 1,316,488円)

公共交通機関を利用することが困難な高齢者等に対し、運転ボランティアの協力により、福祉車両による病院への通院や福祉施設への入退所時の送迎等を行った。

実施回数	利用実人数	ボランティア (実人数)
208回	39名	31名

ウ. お買い物サロン

生協の協力を得て、宅配サービスをセットにしたサロンを開催し、注文書の記載を支援した。なお、実績は居場所づくり事業に計上した。

### (3) 権利を守る環境づくり・成年後見制度の推進

#### ① 権利擁護の推進

ア. 日常生活自立支援事業の推進 (新潟県社協受託事業 5,708,252円)

判断能力の低下している高齢者・障がい者に対し、福祉サービス利用援助・日常金銭管理等を行った。令和7年度は新規契約者3名に対し、解約者が4名であり、解約の事由としては、死亡によるものが多かった。

なお、相談件数の状況については、知的障がい者からの相談が多く、実利用者数も知的障がい者が全体の半数以上を占めている。

(ア). 新規契約者・解約者数

事 項	対象者	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	生活保護(再掲)	合計
	新規契約者数	1名	2名	0名	1名	3名
解約者数	2名	1名	1名	1名	4名	

(イ). 実利用者数

対象者	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	生活保護(再掲)	合計
実利用者数	5名	31名	10名	5名	46名

(ウ). 問い合わせ・相談件数

事 項	対象者	認知症 高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	不明・その他 (分類困難)	合 計
	問い合わせ件数	3件	1件	0件	0件	4件
初回相談件数	11件	6件	6件	0件	23件	
相談援助件数	340件	1,762件	566件	1件	2,669件	
合 計	354件	1,769件	572件	1件	2,696件	

(エ). 生活支援員登録者数

登録者数 47名 (内 実働者数 30名)

(オ)．生活支援員の研修会の開催

開催日	場 所	参加者数	内 容
9月12日	畑野行政サービスセンター	17名	新潟県社会福祉協議会主催令和7年度日常生活自立支援事業生活支援員研修Ⅱ「スキルアップ編」(佐渡会場) 1. 講義「高齢者と障害者の消費者被害の特徴と見守りのポイント」 2. 意見交換

② 成年後見制度の利用促進と支援体制の確保 (受託事業 56,577,000 円)

ア．成年後見制度等の普及啓発・相談対応

成年後見制度等の相談対応については、初回相談(新規)、相談援助件数(継続)ともに前年度の2倍に増加した。法人後見支援状況としては、新たに2名を法人後見として受任した。一方で、相談件数は前年度と比較してやや減少した。

(ア)．相談に関すること

事 項	対象者 認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合 計
初回相談件数(新規)	1件	0件	1件	20件	22件
相談援助件数(継続)	5件	0件	0件	10件	15件
法人後見支援状況	2,604件	2,269件	3,419件	0件	8,292件
合 計	2,610件	2,269件	3,420件	30件	8,329件

(イ)．連絡調整に関すること

事 項	件 数
成年後見制度に関する問合せ、普及啓発等	336件
法人後見支援事業	39件
運営委員会関係	49件
ネットワークづくり	9件
その他	149件
合 計	582件

(ウ)．研修会等への職員派遣

職員を派遣し、成年後見制度の活用方法や後見人の役割等について講義を行った。

開催回数	内 容
6回	成年後見制度に関する講座等

(エ)．視察の受け入れ

日程	来訪者	内容
7月11日	村上市市議会	市民後見人の取り組みについて 等

(オ)．取材対応

日程	来訪者
5月 1日	民事法研究会(実践 成年後見No.116 寄稿)
7月23日	全国社会福祉協議会(NORMA 社協情報 2025年9月号掲載)

(カ)．成年後見セミナーの開催

成年後見制度の普及啓発を目的として、令和7年度は任意後見制度に焦点を当て、市民及び関係機関を対象に成年後見セミナーを開催した。成年後見制度の利用促進と地域共生社会の観点から、成年後見制度の活用について理解を促す機会として開催した。

開催日	場 所	参加者数	内 容
10月28日	あいぼーと佐渡	24名	講演 「ご存じですか？任意後見制度」 ～今から備える自分の未来～ ① 任意後見制度の基礎知識 ② 便利になった手続き方法 ③ どんな方に向いている？ 任意後見制度の活用イメージ 講師 新潟公証人合同役場 公証人 渡邊 雅則 氏

イ．後見人等の受任

親族など、他に適切な後見人がいない方について、法人として後見人等を受任している。令和7年度は、家庭裁判所からの依頼を受け、2名を新規で受任した。また、被後見人等への支援を強化するため、市民後見人養成講座修了生のうち3名が、法人後見支援員として活動した。

(ア)．新規受任・終了件数

対象者 事項	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	合 計	備 考
新規受任件数	0件	2件	0件	2件	保佐2件
受任終了件数	0件	0件	1件	1件	後見1件

(イ)．受任件数（年度末時点）

対象者 事項	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	合 計	備 考
後 見	8件	6件	6件	20件	
保 佐	5件	3件	4件	12件	
補 助	0件	0件	0件	0件	
監 督	0件	0件	0件	0件	
合 計	13件	9件	10件	32件	在宅5件、 施設等27件（入院中を含む）

ウ．社会福祉法人等による法人後見の推進

(ア)．法人後見支援事業の実施

成年後見制度における担い手のひとつである法人後見を推進するため、市内の社会福祉法人等を対象にセミナーを開催し、法人後見の理解促進を図った。

開催日	場 所	参加者数	内 容
2月25日	畑野行政サービスセンター	5法人 5名	講演 「法人後見立ち上げ後の実践と課題」 講師 社会福祉法人上越福祉会 事務長 細谷 雄一 氏

## エ. 市民後見人の養成・活動支援

後見人の担い手不足の問題に対応するため、平成25年度から市民後見人養成講座を開催している。令和7年度市民後見人養成講座には14名の申込みがあり、全員が修了したが、佐渡市市民後見人名簿登録については、健康上の理由等で2名が辞退、2名が保留となっている。

また、行政・専門職等と連携し、市民後見人の活動支援と受任体制づくりに努めた。

佐渡市市民後見人名簿登録者121名（累計）のうち、これまでに77名（累計）が家庭裁判所からの審判（単独受任等）を受け、後見活動を行っている。なお、1名の方については複数の単独受任を行っている。

### (ア). 市民後見人の受任状況等

	佐渡市市民後見人名簿登録者数	新規受任件数	受任終了件数	活動中の市民後見人数
令和7年度	10名	2件	3件	40名
累計	121名	77件	36件	うち2件受任が1名

### (イ). 市民後見人活動支援

市民後見人が安心して活動できるよう、センターとの相談体制の確保及び弁護士、司法書士等と連携し、活動支援に努めた。市民後見人が活動する中で生じる疑問に対しては、随時きめ細やかな支援を行った。

令和7年度から市民後見人のみを対象とした受任調整会議の形式ではなくなったことから、受任に関する相談は別で計上することとなった。また、新規受任件数が少なかったことから、随時相談件数は減少した。

引き続き、市民後見人の活動事例紹介や後見業務において、必要となる内容を中心としたフォローアップ研修を開催し、後見活動に必要な知識の修得及び活動内容の向上を図った。

#### a. 随時相談

内 訳	件 数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民後見人相談件数</li> <li>・市民後見人養成講座に関する相談・問合せ・連絡調整</li> <li>・市民後見人フォローアップ研修会に関する相談・問合せ・連絡調整</li> <li>・専門職相談会に関する相談・問合せ・連絡調整</li> <li>・市民後見人受任に関する相談・問合せ・連絡調整</li> </ul>	1,956件

#### b. 弁護士・司法書士等による専門職相談会

開催日（全3回）	件 数	内 容
4月21日、8月27日、11月21日	4件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財産管理</li> <li>・死後事務</li> </ul>

#### c. フォローアップ研修

開催回数	場 所	延参加者数	内 容
4回	畑野農村環境改善センター	150名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい報告様式の作成の仕方</li> <li>・メンタルヘルス</li> <li>・財産引継ぎ（市民後見人活動報告）</li> <li>・市民後見人活動報告および専門職解説</li> </ul>

(ウ). 市民後見人養成講座の開催

開催日（基礎講座・実務講座全10日間及び面談等）		参加者数
基礎講座（5日間）	8月7日、8月21日、9月4日、9月18日、10月2日	14名
実務選考面談	10月16日（個別面談）	14名
実務講座（5日間）	11月6日、11月20日、12月4日、12月18日、1月15日	14名
実地研修・事務研修	12月25日	14名
実地研修・訪問研修	1月5日、1月6日、1月7日、1月9日、1月13日	14名
最終選考面談	1月22日、1月29日（グループワーク及び個別面談）	13名

(エ). 受任調整会議の開催

今年度から成年後見申立て前に、後見制度の必要性の有無や本人にとってふさわしい後見人等の候補者の推薦を協議するための受任調整会議を開催した。

開催回数	受任調整件数	候補者選任の内訳
6回	16件 うち新規案件12件 継続案件4件	弁護士 1件 社会福祉士 1件 法人後見 4件（うち申立て準備中に死亡1件） 市民後見人 5件 保留 4件 取り下げ 1件

オ. 権利擁護のネットワークづくり

成年後見制度の普及啓発、法人後見の推進、市民後見人の活動支援、及び受任調整会議の運営について、行政や地域包括支援センターとの連絡会議に出席した。

開催日（全11回うち2回欠席）	内容
4月16日、5月21日、6月18日、7月23日、8月20日、11月19日、1月21日、2月18日、3月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度申立てに伴う地域包括支援センターとの連携方法について</li> <li>・成年後見申立てに関する情報共有</li> <li>・受任調整会議について意見交換</li> <li>・申立てに関する意見交換</li> </ul>

県や家庭裁判所が主催する会議に出席し、情報交換を行った。

開催日	内容
6月10日	家庭裁判所との座談会
2月24日	新潟県、佐渡市、新潟県社協、佐渡市社協との意見交換会
2月25日	新潟家裁との連絡協議会

カ. 成年後見センター運営委員会の開催

専門職や関係機関等により9名で構成された運営委員会を設置して、センターの運営や法人後見に係る審議、ケースへの助言などを行った。また、市民後見人活動支援等についても協議した。

開催回数	場所	延出席者
6回	畑野行政サービスセンター	43名

## 4. 介護サービス事業の経営強化と発展

31 ページ以降参照

## 5. 福祉センター等の有効活用

### (1) 福祉センター等の経営

#### ① 福祉センター

福祉事業を総合的に行う拠点とし、福祉活動の高揚を図ることを目的に運営を行った。

また、経年劣化等により修繕が必要となっているが、大規模修繕は行わず、必要最低限の修繕とし、用途変更や一部機能の廃止の検討を行った。

なお、小木福祉保健センターつくしについては、小木診療所への貸与により利用者はいない。

施設名	7年度利用者数	6年度利用者数
両津福祉センターしゃくなげ	5,301名	6,319名
福祉センターあいかわ	423名	847名
赤泊福祉保健センターやすらぎ	1,046名	1,152名

#### ② 真野老人福祉センター寿楽荘

令和7年4月から貸館休止とし、利用者はいない。

#### ③ ゲートボール場すばーく両津

高齢者等の健康と生きがい・仲間づくりを目的に運営を行った。

	7年度	6年度
延利用者数	2,045名	1,977名
延利用回数	174回	235回

## 6. 法人運営機能の充実・強化

人口減少や物価高騰による厳しい経営環境の中、経営会議や各委員会を通じて、介護保険事業における営業日、人員体制、及び食材料費等の見直しを進め、規程・要綱改正を含む経営改善に取り組んだ。

また、人材確保に向けて初任給（経験給）の改正を行うとともに、就業規程の改正による休暇制度の充実を図り、労務環境の改善にも努めた。

### (1) 理事会の開催

開催日	出席 役員	場 所	承認議案数
1 6月3日	13名	畑野行政サービスセンター	5件
2 6月19日	12名	畑野行政サービスセンター	3件
3 9月19日	10名	畑野行政サービスセンター	6件
4 9月25日	15名	書面議決	2件
5 3月5日	13名	畑野行政サービスセンター	19件

### (2) 評議員会の開催

開催日	出席 評議員	場 所	承認議案数
1 6月19日	19名	畑野行政サービスセンター	2件
2 10月9日	16名	畑野行政サービスセンター	1件
3 3月18日	16名	畑野行政サービスセンター	4件

### (3) 監事会の開催

開催日	出席 監事	場 所	決 議 事 項
1 5月15日 5月19日	2名	畑野行政サービスセンター	令和6年度事業報告 令和6年度計算関係書類及び財産目録
2 12月11日 12月15日	2名	畑野行政サービスセンター、 佐渡市社会福祉協議会地域包 括支援センター各事業所	地域包括支援センターの運営状況について

### (4) 委員会の開催

法人経営の安定、地域福祉事業の推進及び介護サービスの経営等を検討することを目的として、各委員会を開催し意見をいただいた。

開催日	出席 委員	場 所	委員会
1 6月19日	5名	畑野行政サービスセンター	法人運営委員会
2 11月26日	4名	畑野行政サービスセンター	介護サービス委員会
3 2月12日	5名	畑野行政サービスセンター	介護サービス委員会
4 2月12日	5名	畑野行政サービスセンター	地域福祉委員会
5 2月12日	6名	畑野行政サービスセンター	法人運営委員会

### (5) 評議員選任・解任委員会の開催

開催日		出席 委員	場 所
1	6月12日	5名	畑野行政サービスセンター
2	3月24日	5名	畑野行政サービスセンター

### (6) 経営会議

開催回数	場 所
13回	畑野行政サービスセンター

### (7) 役員研修の実施

開催日		出席 役員	場 所	内 容
	月日			
1	11月5日	9名	群馬県渋川市社会福祉協議会	・令和7年度重点事業について ・だれでも広場事業の多様な取組み等

### (8) 会員組織拡充の推進

#### ① 一般会員・賛助会員の状況

佐渡市社会福祉協議会は地域の皆様のご理解とご賛同を得ながら各種事業に取り組んでいる。ご支援をいただきながら加入促進に努めてきたが、前年度と比較し一般会員では563世帯、賛助会員では47名の減少となった。

一般会員数	賛助会員数
12,902世帯	410名

### (9) 福祉情報の提供

#### ① 佐渡市社協だよりの発行（隔月）

地域の方々が佐渡市社会福祉協議会を身近に感じ、地域福祉事業や生活支援事業に関心をもっていただけるよう、誰にでも読みやすく分かりやすい記事づくりを心がけて発行した。

社協だより 第188号～第193号（奇数月発行）

#### ② ホームページの活用

幅広い世代の方々や市外にお住まいの方々にも情報を届けられるよう、ホームページを活用して、事業紹介や各種講座等の開催案内、共同募金に関する情報などを発信した。

また、スマートフォン対応のデザインへ刷新し、より閲覧しやすい構成とした。

### (10) 苦情解決への適切な対応

四半期ごとに苦情内容を第三者委員に報告し、情報共有を行うとともに対応について助言を求め、サービスの向上につなげた。

#### ① 第三者委員会の開催

開催日	会 場
9月5日	畑野行政サービスセンター

## ② 苦情の件数等

分類	件数	内 容	対 応
処遇の内容	4件	①利用者のシートベルトを正しい位置に装着しない。 ②訪問入浴車のタンクから水が溢れて道路まで流れていた。他	①通常と異なる方法で装着せざるを得ない身体状態の方と、それ以外の方を区別し、それぞれに合った方法で装着することを徹底する。 ②固定器具を使用して確実に接続する。タンクの水位をこまめに確認して水圧を調整する。
職員の言動	4件	①訪問時間の変更は前日までに連絡してほしい。 ②関係者用の道路で社協の車両にクラクションを鳴らされ、車を避けさせられた。 ③担当職員の定期訪問が行われない。他	①訪問時間の変更が生じた場合は、前日までに連絡することを徹底する。 ②関係者用道路は通行しないことを徹底する。 ③モニタリング等の業務の遂行状況を、毎月管理者が確認する。
その他	7件	①会費を集めて持ってこいと失礼だ。 ②ヘルパーが灯油を漏らした。 ③介護計画書にまとめてサインをさせられた。他	①事業説明を丁寧に行い、あわせて今後の会費取りまとめ方法について検討する。 ②訪問時は手順書を確認し、業務にあたることを徹底する。 ③計画書等の書類は作成後、すみやかにサインをいただくことを徹底する。
合 計	15件		

### (11) 人材育成の推進

#### ① 職員研修の実施

研修計画に基づき、全体研修のほか、部会単位・所属単位・事業所単位等で研修を行った。また、新潟県社協などの外部団体が主催する研修にも参加し、人材育成とスキルアップに努めた。

### (12) 人事評価制度の取り組み

主任以上の職員に対して人事評価を実施した。係長以上は上期と下期の年2回、主任には年1回の評価対象期間を設け、目標管理評価に係る面談を実施し、業務目標の共有と課題の把握に努めた。

### (13) 第3次社協発展・強化計画の評価

組織体制の整備と強化、財政基盤の充実を図り、必要となる地域福祉事業や介護サービス事業を検討して進むべき方向を定めるために策定した第3次社協発展・強化計画の評価を行った。

#### ① 経営会議での中間評価

開催日	会 場
11月25日	畑野行政サービスセンター

#### ② 各委員会での期末評価

開催日	委員会名	会 場
2月12日	地域福祉委員会	畑野行政サービスセンター
	法人運営委員会	畑野行政サービスセンター
	介護サービス委員会	畑野行政サービスセンター

#### (14) 事業継続計画（BCP）の検証

災害等で被害を受けても重要な福祉サービス等の提供をなるべく中断しない、または中断しても可能な限り早急に再開できるように策定した事業継続計画（BCP）の点検・見直しを行った。

また、11月4日及び3月27日に緊急連絡網等を活用した安否確認訓練を実施し、災害時の安否確認方法の手順を確認した。

## 7. その他の取り組み

### (1) ソーシャルワーク実習の受け入れ

社会福祉士養成機関から実習生を受け入れ、実習プログラムを作成し、指導を行った。

養成機関	期 間	受け入れ人数
新潟青陵大学	前期：6月2日～18日 後期：10月6日～23日	3名
日本こども福祉専門学校	12月8日～1月23日	1名
新潟医療福祉大学	2月16日～26日	2名

### (2) 介護保険外訪問介護事業の実施

要介護者等の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じてできる限り自立した日常生活を営むことができるよう、支援を行った。

事業所	実施回数	実利用者数	備 考
社協ヘルパーステーションまごころ	199回	5名	身体介護、生活援助、通院介助

### (3) 介護保険外通所介護事業の実施

利用者のニーズに対応し、通所介護サービス利用中に理容業者による理容サービスを実施した。

また、帰宅時の夕食弁当持ち帰りサービスを提供した。

#### ① 理容サービス（実施事業所数 7事業所）

事業所名	実利用者数	延利用者数
両津デイサービスセンターしゃくなげ	61名	415名
両津デイサービスセンターいわゆり	15名	39名
両津デイサービスセンターかんぞう	4名	73名
金井デイサービスセンターしゃくなげの里	29名	39名
新穂デイサービスセンター	33名	58名
小木デイサービスセンターつくし	22名	55名
赤泊デイサービスセンターやすらぎ	7名	85名
合 計	171名	764名

#### ② 夕食弁当持ち帰りサービス（実施事業所数 5事業所）

事業所名	実利用者数	延利用回数
両津デイサービスセンターかんぞう	4名	73回
金井デイサービスセンターしゃくなげの里	5名	22回
新穂デイサービスセンター	4名	139回
小木デイサービスセンターつくし	13名	415回
赤泊デイサービスセンターやすらぎ	3名	18回
合 計	29名	667回

## II 介護保険事業、障がい福祉サービス事業報告

### (1) 訪問介護事業所の経営

#### ① 運営の概況

人口減少に伴う認定者数の減少と施設入所が容易となったことにより、利用者数が減少した。

#### ② 運営状況

ア. 社協ヘルパーステーションまごころ ※ ( ) 内は前年数値／前年比 以下同様

・実利用者数	534名	(	561名	/	△4.8%
[内介護分]	339名	(	350名	/	△3.1%
[内総合事業分]	103名	(	113名	/	△8.8%
[内障がい分]	92名	(	97名	/	△5.2%
・年間延サービス提供時間／回数					
	43,848時間	(	52,383時間	/	△16.3%
	68,240回	(	80,688回	/	△15.4%
[内介護分]	30,295時間	(	36,924時間	/	△18.0%
	51,770回	(	61,611回	/	△16.0%
[内総合事業分]	4,893時間	(	5,787時間	/	△15.4%
	5,002回	(	5,817回	/	△14.0%
[内障がい分]	8,660時間	(	9,673時間	/	△10.5%
	11,468回	(	13,259回	/	△13.5%
・実ヘルパー数	85名	(	84名	/	1.2%
・常勤換算ヘルパー数	54.0名	(	57.7名	/	△6.4%

### (2) 訪問入浴介護事業所の経営

#### ① 運営の概況

在宅で終末期を迎える方が増えており、サービス提供者数が増加した。

#### ② 運営状況

ア. 社協訪問入浴介護事業所

・営業日数	364日	(	365日	)	
・実利用者数	60名	(	55名	/	9.1%
・年間延サービス提供者数	1,788名		1,490名	/	20.0%
[内障がい分]	334名	(	264名	/	26.5%

### (3) 通所介護事業所の経営

#### ① 運営の概況

要介護認定者の施設入所等により、延べサービス提供者数が減少した。利用者数が減少し、今後も増加が見込めない両津デイサービスセンターかんぞうの定員減と赤泊デイサービスセンターやすらぎの営業日を縮小した。また、介護報酬の増収を図るため、個別機能訓練加算の取得に取り組んだ。

#### ② 運営状況(定員203名(令和8年3月31日現在))

・延営業日数	2,239日	( 2,629日 )	
・実利用者数	834名	( 893名 /	△6.6%
・年間延サービス提供者数	51,110名	( 56,111名 /	△8.9%
[内介護分]	39,793名	( 43,610名 /	△8.8%
[内総合事業分]	7,133名	( 7,680名 /	△7.1%
[内障がい分]	1,407名	( 1,614名 /	△12.8%
[内待鶴荘分]	2,777名	( 3,207名 /	△13.4%
・個別機能訓練加算 年間件数	1,256件	( 456件 /	175.4%
実人数	58名	( 62名 /	△6.5%
・口腔機能向上加算 年間件数	0件	( 0件 /	— )
実人数	0名	( 0名 /	— )
・年間平均稼働率	76.0%	( 75.4% /	0.6ポイント)
・一日平均利用者数	152.6名	( 165.6名 /	△7.9%
[内介護分]	119.5名	( 129.5名 /	△7.7%
[内総合事業分]	21.3名	( 22.8名 /	△6.6%
[内障がい分]	4.2名	( 4.6名 /	△8.7%
[内待鶴荘分]	7.7名	( 8.9名 /	△13.5%

#### ア. 両津デイサービスセンターしゃくなげ(定員35名)

・営業日数	361日	( 361日 )	
・実利用者数	178名	( 161名 /	10.6%
・年間延サービス提供者数	10,239名	( 10,332名 /	△0.9%
[内介護分]	8,612名	( 8,542名 /	0.8%
[内総合事業分]	1,426名	( 1,590名 /	△10.3%
[内障がい分]	201名	( 200名 /	0.5%
・個別機能訓練加算 年間件数	233件	( 0件 /	— )
実人数	8名	( 0名 /	— )
・口腔機能向上加算 年間件数	0件	( 0件 /	— )
実人数	0名	( 0名 /	— )
・年間平均稼働率	81.0%	( 81.8% /	△0.8ポイント)
・一日平均利用者数	28.4名	( 28.6名 /	△0.7%
[内介護分]	23.9名	( 23.7名 /	0.8%
[内総合事業分]	4.0名	( 4.4名 /	△9.1%
[内障がい分]	0.6名	( 0.6名 /	0.0%

イ. 両津デイサービスセンターいわゆり (定員18名)

・営業日数	258 日	(	257 日)	
・実利用者数	53 名	(	56 名	△5.4 %)
・年間延サービス提供者数	3,847 名	(	3,911 名	△1.6 %)
	[内介護分]		3,322 名	3.3 %)
	[内総合事業分]		417 名	△29.2 %)
・個別機能訓練加算	年間件数		127 件	( 0 件 / — )
	実人数		4 名	( 0 名 / — )
・口腔機能向上加算	年間件数		0 件	( 0 件 / — )
	実人数		0 名	( 0 名 / — )
・年間平均稼働率	82.8 %	(	84.5 %	△1.7 ポイント)
・一日平均利用者数	14.9 名	(	15.2 名	△2.0 %)
	[内介護分]		13.3 名	( 12.9 名 / 3.1 %)
	[内総合事業分]		1.6 名	( 2.3 名 / △30.4 %)

ウ. 両津デイサービスセンターかんぞう (定員18名→令和8年1月より定員10名に変更)

・営業日数	207 日	(	206 日)	
・実利用者数	32 名	(	31 名	3.2 %)
・年間延サービス提供者数	2,240 名	(	2,762 名	△18.9 %)
	[内介護分]		1,872 名	( 2,341 名 / △20.0 %)
	[内総合事業分]		315 名	( 368 名 / △14.4 %)
	[内障がい分]		53 名	( 53 名 / 0.0 %)
・個別機能訓練加算	年間件数		0 件	( 0 件 / — )
	実人数		0 名	( 0 名 / — )
・口腔機能向上加算	年間件数		0 件	( 0 件 / — )
	実人数		0 名	( 0 名 / — )
・年間平均稼働率	67.3 %	(	74.5 %	△7.2 ポイント)
・一日平均利用者数	10.8 名	(	13.4 名	△19.4 %)
	[内介護分]		9.0 名	( 11.4 名 / △21.1 %)
	[内総合事業分]		1.5 名	( 1.8 名 / △16.7 %)
	[内障がい分]		0.3 名	( 0.3 名 / 0.0 %)

エ. 金井デイサービスセンターしゃくなげの里 (定員51名)

・営業日数	361 日	(	361 日)	
・実利用者数	164 名	(	161 名	1.9 %)
・年間延サービス提供者数	9,972 名	(	9,771 名	2.1 %)
	[内介護分]		7,800 名	( 8,112 名 / △3.8 %)
	[内総合事業分]		1,580 名	( 1,357 名 / 16.4 %)
	[内障がい分]		288 名	( 302 名 / △4.6 %)
	[内待鶴荘分]		304 名	( 0 名 / — )
・個別機能訓練加算	年間件数		391 件	( 456 件 / △14.3 %)
	実人数		9 名	( 62 名 / △85.5 %)
・口腔機能向上加算	年間件数		0 件	( 0 件 / — )
	実人数		0 名	( 0 名 / — )
・年間平均稼働率	54.2 %	(	53.1 %	1.1 ポイント)
・一日平均利用者数	27.6 名	(	27.1 名	1.8 %)
	[内介護分]		21.6 名	( 22.5 名 / △4.0 %)
	[内総合事業分]		4.4 名	( 3.8 名 / 15.8 %)
	[内障がい分]		0.8 名	( 0.8 名 / 0.0 %)
	[内待鶴荘分]		0.8 名	( 0.0 名 / — )

オ. 新穂デイサービスセンター (定員36名・大雨により1日休業)

・営業日数	360 日	(	361 日)		
・実利用者数	155 名	(	136 名	／ 14.0 %)	
・年間延サービス提供者数	10,054 名	(	9,117 名	／ 10.3 %)	
	[内介護分]	6,389 名	(	5,609 名	／ 13.9 %)
	[内総合事業分]	875 名	(	640 名	／ 36.7 %)
	[内障がい分]	317 名	(	185 名	／ 71.4 %)
	[内待鶴荘分]	2,473 名	(	2,683 名	／ <span style="color: red;">△7.8 %</span> )
・個別機能訓練加算	年間件数	0 件	(	0 件	／ —)
	実人数	0 名	(	0 名	／ —)
・口腔機能向上加算	年間件数	0 件	(	0 件	／ —)
	実人数	0 名	(	0 名	／ —)
・年間平均稼働率	77.6 %	(	70.2 %	／ 7.4 ポイント)	
・一日平均利用者数	27.9 名	(	25.3 名	／ 10.3 %)	
	[内介護分]	17.7 名	(	15.5 名	／ 14.2 %)
	[内総合事業分]	2.4 名	(	1.8 名	／ 33.3 %)
	[内障がい分]	0.9 名	(	0.5 名	／ 80.0 %)
	[内待鶴荘分]	6.9 名	(	7.4 名	／ <span style="color: red;">△6.8 %</span> )

カ. 畑野デイサービスセンターやわらぎの里 (定員18名)

・営業日数	一日	(	361 日)		
・実利用者数	一名	(	79 名	／ — %)	
・年間延サービス提供者数	一名	(	4,239 名	／ — %)	
	[内介護分]	一名	(	2,947 名	／ — %)
	[内総合事業分]	一名	(	519 名	／ — %)
	[内障がい分]	一名	(	249 名	／ — %)
	[内待鶴荘分]	一名	(	524 名	／ — %)
・個別機能訓練加算	年間件数	一件	(	0 件	／ —)
	実人数	一名	(	0 名	／ —)
・口腔機能向上加算	年間件数	一件	(	0 件	／ —)
	実人数	一名	(	0 名	／ —)
・年間平均稼働率	— %	(	65.2 %	／ — ポイント)	
・一日平均利用者数	一名	(	11.7 名	／ — %)	
	[内介護分]	一名	(	8.2 名	／ — %)
	[内総合事業分]	一名	(	1.4 名	／ — %)
	[内障がい分]	一名	(	0.7 名	／ — %)
	[内待鶴荘分]	一名	(	1.5 名	／ — %)

キ. 小木デイサービスセンターつくし (定員18名)

・営業日数	361 日	(	361 日)	
・実利用者数	106 名	(	109 名 /	△2.8 %)
・年間延サービス提供者数	6,209 名	(	6,322 名 /	△1.8 %)
[内介護分]	5,162 名	(	5,313 名 /	△2.8 %)
[内総合事業分]	903 名	(	824 名 /	9.6 %)
[内障がい分]	144 名	(	185 名 /	△22.2 %)
・個別機能訓練加算 年間件数	368 件	(	0 件 /	—)
実人数	14 名	(	0 名 /	—)
・口腔機能向上加算 年間件数	0 件	(	0 件 /	—)
実人数	0 名	(	0 名 /	—)
・年間平均稼働率	95.6 %	(	97.3 % /	△1.7 ポイント)
・一日平均利用者数	17.2 名	(	17.5 名 /	△1.7 %)
[内介護分]	14.3 名	(	14.7 名 /	△2.7 %)
[内総合事業分]	2.5 名	(	2.3 名 /	8.7 %)
[内障がい分]	0.4 名	(	0.5 名 /	△20.0 %)

ク. 赤泊デイサービスセンターやすらぎ (定員35名・令和7年9月から週6日営業)

・営業日数	331 日	(	361 日)	
・実利用者数	146 名	(	160 名 /	△8.8 %)
・年間延サービス提供者数	8,549 名	(	9,657 名 /	△11.5 %)
[内介護分]	6,528 名	(	7,424 名 /	△12.1 %)
[内総合事業分]	1,617 名	(	1,793 名 /	△9.8 %)
[内障がい分]	404 名	(	440 名 /	△8.2 %)
・個別機能訓練加算 年間件数	137 件	(	0 件 /	—)
実人数	23 名	(	0 名 /	—)
・口腔機能向上加算 年間件数	0 件	(	0 件 /	—)
実人数	0 名	(	0 名 /	—)
・年間平均稼働率	73.8 %	(	76.4 % /	△2.6 ポイント)
・一日平均利用者数	25.8 名	(	26.8 名 /	△3.7 %)
[内介護分]	19.7 名	(	20.6 名 /	△4.4 %)
[内総合事業分]	4.9 名	(	5.0 名 /	△2.0 %)
[内障がい分]	1.2 名	(	1.2 名 /	0.0 %)

#### (4) 居宅介護支援事業所の経営

##### ① 運営の概況

介護保険認定者数の減少により、介護プラン請求件数が減少した。介護認定の軽度化が進んでいることから、介護予防支援事業及び介護予防プラン受託に取り組んだ。

##### ② 運営状況

・ケアマネ人数（常勤換算）	19.9名	（	19.9名	／	0.0%
・介護プラン請求件数	7,927件	（	8,392件	／	△5.5%
・予防プラン請求件数	342件	（	12件	／	—
・プラン請求件数（月一人当たり）	33.2件	（	35.1件	／	△5.5%
・訪問調査件数	151件	（	90件	／	67.8%
・介護予防プラン受託件数	383件	（	412件	／	△7.0%

##### ア. 社協ケアプランセンターしゃくなげ（両津）

・ケアマネ人数（常勤換算）	4.0名	（	4.0名	／	0.0%
・介護プラン請求件数	1,736件	（	1,912件	／	△9.2%
・予防プラン請求件数	15件	（	0件	／	—
・プラン請求件数（月一人当たり）	36.5件	（	39.8件	／	△8.3%
・訪問調査件数	16件	（	14件	／	14.3%
・介護予防プラン受託件数	33件	（	30件	／	10.0%

##### イ. 社協ケアプランセンター天領（相川）

・ケアマネ人数（常勤換算）	4.0名	（	3.8名	／	5.3%
・介護プラン請求件数	1,436件	（	1,555件	／	△7.7%
・予防プラン請求件数	62件	（	2件	／	—
・プラン請求件数（月一人当たり）	31.2件	（	35.7件	／	△12.6%
・訪問調査件数	73件	（	30件	／	143.3%
・介護予防プラン受託件数	48件	（	66件	／	△27.3%

##### ウ. 社協ケアプランセンターなごみ（佐和田）

・ケアマネ人数（常勤換算）	4.0名	（	4.2名	／	△4.8%
・介護プラン請求件数	1,700件	（	1,726件	／	△1.5%
・予防プラン請求件数	27件	（	8件	／	—
・プラン請求件数（月一人当たり）	35.9件	（	34.0件	／	5.6%
・訪問調査件数	18件	（	13件	／	38.5%
・介護予防プラン受託件数	24件	（	23件	／	4.3%

##### エ. 社協ケアプランセンターきずな（真野）（育児短時間勤務により、△0.1名）

・ケアマネ人数（常勤換算）	3.8名	（	3.9名	／	△2.6%
・介護プラン請求件数	1,462件	（	1,499件	／	△2.5%
・予防プラン請求件数	137件	（	0件	／	—
・プラン請求件数（月一人当たり）	32.1件	（	32.0件	／	0.3%
・訪問調査件数	17件	（	12件	／	41.7%
・介護予防プラン受託件数	166件	（	176件	／	△5.7%

オ. 社協ケアプランセンターおもと（羽茂）（5名体制→令和7年6月から4名体制）

・ケアマネ人数（常勤換算）	4.1名	（	4.0名	／	2.5%	）
・介護プラン請求件数	1,593件	（	1,700件	／	△6.3%	）
・予防プラン請求件数	101件	（	2件	／	—	）
・プラン請求件数（月一人当たり）	34.4件	（	35.4件	／	△2.8%	）
・訪問調査件数	27件	（	21件	／	28.6%	）
・介護予防プラン受託件数	112件	（	117件	／	△4.3%	）

（5）認知症対応型共同生活介護施設の経営

① 運営の概況

入院入所による空室が多く、短期利用サービスの提供と待機者の実態調査・入退居判定会議を4回開催し、空室縮小に取り組んだ。

② 運営状況

ア. グループホームまの（定員18名）[2ユニット]

・定員（2ユニット合計）	18名	（	18名	／	0.0%	）
・実利用者数	34名	（	28名	／	21.4%	）
・年間平均稼働率	96.0%	（	95.0%	／	1.0ポイント	）
・1日平均利用者数	17.3名	（	17.2名	／	0.6%	）
・短期利用年間延べサービス提供日数	50日	（	一日	／	—%	）

## 事業報告の附属明細書

令和 7 年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会